

目次

新年賀詞交換会	1
理事会報告・委員会報告	2
海外ニュース	3
うちの会社	4
新・パソコン外論考(其23)	5
出版文化史遺産(64) 洋書の歴史雑記帳(XIX)	6
新しい英語学習のコンセプト	7

新年賀詞交換会

2002年1月9日

2002年の洋書協会の活動のスタートは、新年賀詞交換会でした。おだやかな正月で、今年こそ「いい年」でありますようにと望んだ会員たちが、続々と集ってきました。その数、59社182名にのぼります。(ちなみに新世紀の幕あけと銘うった昨年は57社176名でした。)今年は、UPSの川原氏の趣向を凝らした演出で、琴と尺八の演奏の中でのオープンとなりました。曲目は、『初鶯』、『春の海』、『千鳥の曲』、『春の曲』、『秋の曲』、『夏の曲』でしたが、マンハッタンもかくあらんと思われる摩天楼の明かりの灯るビルディングの遙かなたに、これぞ日本という富士山の夕暮れの影を見ると、和と洋を繋ぐ洋書協会の役割を見事に投影しているように思われました。(但し、この空間を感じられたのは、少し早めに参加して下さった方のみです。来年は早く来てみて下さい。)



オープニング・スピーチは新しくUPSの代表とされたマーク・グresham氏です。去年の会員の皆様のご参加とご支援に感謝するとともに、新年のスタートとなる本日のパーティーの食事と日本の伝統的音楽をお楽しみ下さいとのあいさつで幕あけです。鈴木理事長のあいさつは、1月号に掲載済みですから、ここでは、概略を申し上げますが、「円安でスタートした新年も、色々大変でしょうが、我々がきずきあげたマーケット・サービス・クオリティーなどの一定のストーリーが、新しい手法を工夫しながら発展していかな



ばならないのではないか」という主旨であったと思います。その後、理事長のご発声で乾杯をしました。

会場は去年に引き続き、外国特派員記者クラブのパーティー会場です。料理は20点ありました。(筆者も全部は食べていませんが、厨房に無理を言ってメニューを貰いカウントしました。)夕暮れの景色がなくなるとつれて、アルコールの入り方が増してきます。理事長もあいさつの中で述べられた「会員同士、皆友人」の真骨頂の時となります。これがあれば、ドット・コムのシステムにも負けないで日本のマーケットへの文化貢献に寄与することが出来るのではとの思いを強くしました。

会場の中を回って、会員の声を聞くと、「原点にもどれ」という声があちこちで聞かれました。新しい商品・サービス・システムは生れてきているけど、理事長の所謂の「築きあげたマーケット」への思いが会員の原点にあるように感じられました。

なお、尺八と琴を演じて下さった女性(金子さん・金子さん・服部さん)は、いずれも東京芸術大学の邦楽科を卒業され、この道数十年という方々でした。私たちの道と一部共通項があるかもしれないと談話しました。どうしても、演奏の依頼をしたいと思われる会員の皆様のために、彼女たちの連絡先を入手しております。事務局までお問合わせ下さい。

(文化厚生委員 柴田厚生 記)



理事会報告

1月25日(金)

1. 2002年度定時総会(兼旅行会)の準備経過について
事務局長より報告があった。

日時：5月17日(金)午後3時～5時

会場：静岡県熱海市内

議題：2001年度決算報告

2002年度予算提案

理事会・委員会活動報告

その他

2. 外国雑誌セミナー開催が山川理事より提案された。

テーマ(仮)：これからの大学図書館

講師：外国雑誌ユーザー

日時・会場等を含む具体案は次回理事会にて提案される予定。

3. 事務所移転に関する事務局長報告を了承した。

- ・新賃貸借契約

- ・1月26日(土)移動開始

- ・2月4日(月)平常業務再開

4. 台北国際図書展「日本館」運営支援のための出張
予定に関する事務局長報告を了承した。

委員会報告 <ホームページ・ダイレクトリー委員会>

ホームページに新しいページが加わりました

2月25日から協会ホームページに新しく「協会関連機関ホームページ」が加わりました。日本書籍出版協会などの国内関連諸機関、米国雑誌協会など海外の関連諸機関の名称とURLが掲載され、URLをクリックすることでその機関のホームページにリンクすることが出来ます。今回は計22機関を掲載しましたが、今後更に拡充していく計画です。会員の皆様から必要と

思われる機関の情報をお寄せいただければ幸いです。

なお、「英文版ホームページ」につきましては現在までに日本語表記から変換した英語表記のデータ作成、および英文用画面の設計が完了しました。平行して表示用・修正用のアプリケーション作成作業が進行しており、3月末までに完成する予定です。

協会ホームページについて、忌憚のないご意見・ご要望をお待ちしております。



海外ニュース

◆英国書店のユーロ対応

英国の書店は、ユーロによる支払いを渋々ながら受け入れる対応をとり、その多くが受け入れる必要があればという程度で容認するもよう。Hammicks、Borders、Books Etc、Blackwell'sなどの書店がユーロの支払いを受けるとしているが、つり銭はポンドで出すとのこと。Waterstone'sはロンドンの5店舗、ベルファストの2店舗、そしてマンチェスター空港店でユーロを扱い、W.H.Smithは空港に設置したすべての店舗で他の外国通貨と同様にユーロも扱う。

BlackwellのMr.Michael Neil、Commercial Directorは、「我々としては積極的にユーロ払いを奨励する気はないが、もし顧客が2万ポンド相当の書籍をシャツのボタンで支払おうという場合でも、それが換金できるなら受け入れるということだ」と述べた。

theBookseller.com, JAN 3, 2002

◆ハリー・ポッターの焚書さわぎ

ニューメキシコ州のある教会が、シェイクスピアやJ・Kローリングなどの著作を燃やしたとGardian誌が報道した。Christ Community Churchの創設者で牧師であるJack Brock氏は、ローリング著のハリー・ポッター本を「悪魔的な詐欺」の代表作だとし、子供に「魔術世界への入り方」を教えるものだとして弾劾している。この焚書行為は「本を燃やすな」をスローガンとする団体の抗議を受けており、彼らの掲げるプラカードにはヒトラーやオサマ・ビン・ラディンとの関連性を書いたものもあった。

CNNの報道によると、オーストリアのあるテレフォン・サービスが少年魔法使いを不快に思う人々の怒りの声のはけ口を提供しているとのことである。このテレフォン・サービスでは録音された声が「あなたがどれだけハリー・ポッターを憎んでいるかをぶちまけましょう」と述べて、メッセージを残すように指示す

るという。ホットライン設置者は、これらのメッセージを本にして出版しようと計画している。

theBookseller.com, JAN 2, 2002

◆Blackwell社のお家騒動

120年の歴史を持つ学術書店・出版社Blackwell社が、二人のBlackwell氏の間で揺れている。元重役Toby Blackwell氏は早い時期に同社を売却する意向でいるのに対し、彼の甥である現重役Nigel Blackwell氏はここ二年のうちに株式公開することを見据えて組織再編を目論んでいる。Toby Blackwell氏は同社株式の30.1%を保有し、その他の株主12.5%の支持も取り付けている。書店経営のBlackwell LtdはBlackwell社の出版業務の株9.3%を保有しており、Toby Blackwell氏はこのBlackwell Ltdの株主総会(1月28日)で売却支持を取り付けるべくロビー活動を行っている。

Blackwellは1879年オックスフォードに第一号店を開店した老舗で、現在英国国内に70店舗を有する。同社は1920年代に書籍および雑誌の出版に進出し、現在では約4億ポンド(5億7,600万ドル)の資産価値を誇る英国最大の個人企業のひとつである。年間660誌の雑誌、600タイトル以上のテキストブックを刊行している。2000年の総売上高は1億4,100万ポンド(2億300万ドル)だが、資産価値下落のため利益高は230万ポンド(330万ドル)減の1,090万ポンド(1,570万ドル)に減少した。同社はまた、ウェブ投資で1,000万ポンド(1,440万ドル)の損失も出した。同社が売却されるとした場合の買い取り先としてTaylor & Francis、Vivendi、Pearson、John Wileyなどの名が挙がっている。

PW Daily, JAN 16, 2001

◆Kluwer金融・会計学の出版社を買収

Wolters Kluwerは英国の金融・会計学専門出版社ABG Professional Informationを1,500万ポンド(initial sum)で買収した。ABGは、イングランドおよびウェールズの特許会計士協会(Institute of Chartered Accountants)の商業出版部門であり、会計監査、会計業務、保険などのポートフォリオを印刷体および電子媒体で提供している。年間売上高は2,200万ユーロ(1,380万ポンド)にのぼる。この専門出版社は、Kluwer傘下のCroner、CCH(ロンドンに拠点を置くビジネス

書出版社)に組み込まれ、同社の税務・金融タイトルを強化することになる。

theBookseller.com, JAN 29, 2002

◆米アマゾン、初の黒字(2001年第4四半期)

米 Amazon.com は、2001 年第 4 四半期の決算を発表した。初の黒字となった。2001 年第 4 四半期における会計原則ベースの純利益は 500 万ドル(1 株当たり利益は 1 セント)となった。前年同期は会計原則ベースの純損失が 5 億 4500 万ドル(1 株当たり損失が 53 セント)だった。

また、アマゾンの一時的な費用を除いた純利益は 3500 万ドル(1 株当たり利益は 9 セント)で、前年同期の純損失 9000 万ドル(1 株当たり損失は 25 セント)から大きく黒字に転換した。売上高は 11 億 2000 万ドル。

黒字になった主要因は受注処理の改善だという。アマゾンは物流センターを昨年より 2 箇所減らし、受注処理センターの従業員を 4,000 人減らした。セルフ・サービスツールの改善により、注文当たりの対顧客コンタクトを 3 分の 1 減らした。更に、買い物客が自分の注文について問い合わせてきた数はほぼ 2 分の 1 に減った。

Scholarly Communications Report

Vol.6, No.1 Jan. 2002 提供: ユサコ

うちの会社

有限会社 インターナレッジ・ブックス

東京都新宿区高田馬場 2-5-21

和田ビル 301

Tel : 03-3205-4651 Fax : 03-3205-4652

E-mail : XLF03052@nifty.ne.jp

昭和 61 年の設立ですので由緒ある業界のなかではまだ新しい会社といえるでしょう。設立当初は海外の中堅出版社のレップとして発足することになりましたが、知名度の低い出版社のプロモーションが思うようにいかず、コンピュータサイエンス関係の学会に加入し、DM 等の他に学会での書籍展示に参加することになりました。その後大手出版社による吸収合併が日常茶飯事となり、ようやく日本での売上が順調に伸び始めた出版社がある日突然他の出版社の傘下に入ることが続き、複数の出版社のレップ業が難しい時代になってきました。一方、学会で多くの研究者、大学の先生にお目にかかる機会がふえていろいろな問い合わせに対応しているうちに結果として研究所、大学等へ納入することが多くなり、現在に至っております。

社名のインターナレッジのインターは、学際的、あるいは諸専門分野にわたるという意味の interdisciplinary と人工知能や認知科学で使われている知識表現、知識発見等の knowledge という単語を合成した造語です。昨年ホームページを作るために interknowledge.com を登録しようとしたところ先に登録済みということでしたので調べてみたらス

イスの旅行代理店に先取りされていました！ そのうちにこの言葉が Oxford English Dictionary に載るのではと冗談をいっています。

コンピュータサイエンス以外にも理工学系の洋書を扱ってはいますが、コンピュータサイエンスが数学は勿論のこと言語学、一部生物学の分野へまで広がりがつつありますのでコンピュータだけやっていれば良いというわけにはいかなくなり、専門分野もますます学際的ならざるを得ないのが現状です。20 年くらい前はコンピュータ関係の書籍の需要は大学よりも民間企業の方が多かったのですが、バブル経済の崩壊以降、民間企業の研究者からの需要が減りつつあることが気掛かりになっています。ひところ IT 革命等と騒がれたことがありましたが、実際に社会に革命的な影響を与えたのは急速なインターネットの普及だったのではないのでしょうか。とはいえ IT 関連の需要が無くなってしまった訳ではないので、再び民間からの専門書の需要が増えるのは日本経済の回復を待たなければならないのでしょうか。そんなわけで少数の人員で毎日仕事に追われています。

塚本 正広

◆What's new./何か変わったことはありませんか？

〈子聞之曰〉、成事不説、遂事不諫、既往不咎、

〈The Master, on hearing of this reply, commented,〉

"One does not explain away what is already done, one does not argue against what is already accomplished, and one does not condemn what has already gone by."

(論語／八佾・Confucius; The Analects／BookIII)

【超拙意識；＜哀公が神体となる樹木のいわれを弟子の宰我に尋ねました。その時に、彼の答えは、神体樹木は王朝によって違い、現在(周)は、栗の木です。そして、付けくわえていいました。栗の音は「リツ」です。ので「人民を戦慄」させるためのものです、と。このことを伝え聞かれた先生は、言われた＜「できてしまったことは、いいわけのしようがないよ。やってしまったことは、論じようがないよ。また、過ぎ去ったことは、咎だてしてはいけないよ」】

★Internetについて

博物館の取材も相変わらず継続中です。再訪となります、東京のウォーターフロント台場の「日本科学未来館」(National Museum of Emerging Science and Innovation = <http://www.miraikan.jst.go.jp>)にまいりました。当日は、東京の冬には珍しく台風の雨混じりの風雨で、新橋からの「ゆりかもめ」も運休か、といった感じで、入場者が極端に少ない日でした。

お蔭で(?)、ゆっくりたっぷり取材兼体験してきました。飽きもしないで、6階まで吹抜けの中に時々刻々と宇宙衛星から送られる地球のデータを映し出すジオ・コスモス(直径6.5mの映像地球儀)を眺めてました。また、レーザー光線の実験・ロボット制作・超低温の実験などを見たり、レプリカの深海探索艇の内部に入って、3人も乗ればいっぱいという狭い船内を体験したり、予めロボットの動きを入力しておき、そのロボットの目になったようにして動き回るのを大スクリーンで見るVR (Virtual Reality＝疑似体験)シアターとか、前回は30分、1時間待ちで諦めたものに、待ち時間ゼロで楽しんできました。Internetでアクセスして、websiteを眺めるのも楽しいのですが、実際の体験は、やはり何かが違うものです。

★Internet関係のパソコン英語**** (15)

e-mailに関する話の続きです。The Internetを通じて送受信するmailは、入会したprovider(プロバイダー＝契約業者)の【mail server】に貯められます。

この【mail server＝メールの送受信サービス担当コンピューター】には、「送信用メール」の【SMTP】serverと「受信用メール」の【POP】serverがあります。【SMTP】(Simple Mail Transfer Protocol＝単純メール送信規約)の意味で、mailの送信の際の規約です。mail受信用は、【POP】(Post Office Protocol＝郵便局通信規約)というものを使用して、自分のパソコンに取り込みます(現在は【POP3】というversion 3の規約を使用)。

余談ですが、Internetの件。これは固有名詞ゆえに定冠詞theがつきます。友人の英語教師nativeの方とこの話題に入り、通じるだろうと思って『ジーインタ'ネット』といったら、笑われました。うまく書き表せませんが、彼らは『ゼ'ヌネ』と発音します。waterを『ウォ'ーター』よりは『ワラ』と発音すると通じるのと同様で、『ゼ'ヌネ』と呪文のように唱えてみてください。通じます！ もう一つ、providerの件。これには、無料・有料、しかも有料の中にも種々様々です。いくつか紹介をと思ったのですがあまりにも種々雑多で、困惑。またの機会に…。

閑話休題。そこで、メールを受信する際に使用する【POP3】の規約だと、mail serverに着信したものをすべて、自分の(会社または他人のものを使用しても)パソコンに一度は「取り込む」ところから、悲劇が起こっているわけです。この回避策の新しい通信規約【IMAP4】(Internet Message Access Protocol ver.4＝インターネットメッセージ利用規約内4版)が、早く普及するといいいのですが。これは、【spam】＝迷惑メール、公告メール、virus付きのメールと思われるものなどは、mail serverに残して(排除)、「必要なメール」のみを選択受信できる規約です。

筆者も新機種の方で、新しいmailer(次号で説明)のpasswordなどをメモしながら設定。突然、「SMTPサーバー」「POP3サーバー」名を入れよ、で、一瞬『何じゃこれは?』と目が点になりました。通信ソフトの設定で、かかる単語が飛びこむわけですからパソコンといいますが、ネット接続は、つくづく難しいと思います。

(本項続く)乞御期待。

洋書の歴史雑記帳〔XIX〕津山藩と洋学の系譜(11) 鈴木陽二

◆岡山県の洋学風土記(3)

本能寺の変により備中高松城水攻めの最中だった秀吉が急きょ光秀との合戦に向った、世にいう大返しは有名な史実だが、その高松城址は史跡公園となって保存されている。筆者が訪れた中秋の備中は、抜けるような蒼天の下に心地よい微風が野面を渡っていた。余り広くもない城址に立つと、小高い山々に圍繞されて吉備平野が広がっている。今では穏やかな陽光の中の田園風景で、かつて満々と水がたたえられ、山々に旗指し物が林立していたという情景を想像するよすがもない。秀吉は3キロにおよぶ堤防を築いて近くの足守川から水を流し込み、二百町歩の大湖水を造り出したのだが、その常人の及ばない発想の大きさに、いまさらのように感嘆する思いだった。

この足守川の上流、岡山市の北の外れに木下家2万5千石の陣屋町足守はある。吉備線足守駅から自動車で10分ほどの距離だが、交通に恵まれなかったせいも、江戸時代の町並を多く残し、思い思いの意匠の虫籠窓や格子窓の町家、ナマコ壁の豪壮な長屋門など、静寂に包まれた町筋に心の和む小京都である。木下家は秀吉の正室ねねの弟が家を興して維新まで続いた家系で、歌人など風雅な藩主が生まれた。雑誌『白樺』の同人で歌人の木下利玄も藩主の後裔だった。

さて、江戸末期に活躍した偉大な蘭学者緒方洪庵は、1810(文化7年)にこの足守で生まれた。今、その家は残っていないが、県指定の史跡として「緒方洪庵生家跡」の石碑が建てられている。長ずるに及び、大阪の足守藩蔵屋敷留守居役の父に同道して大阪に出てから蘭学を志し、蘭方医中天遊の門に入った。そして、4年間にその頃出回っていた翻訳医学書のあらかたを読破したという研鑽振りだった。次いで師の勧めによって原書を勉強するべく、1831(天保2年)に江戸に出て坪井信道の塾に入った。当時伊東玄朴と江戸蘭学を二分する両学者の塾は盛況を極めていたが、玄朴がどちらかというのと利に聡く、政治的な才覚にも優れていたのに比べて、信道の下には学究的な人材が集まったという。洪庵は塾生時代数十巻に上る原書を読了し、また多くの翻訳を手掛けた。在塾中の翻訳では1832(天保3年)にT.G.A.ローゼのオランダ語訳から『人身窮理学小解』を重訳した。人体生理学の本で、次々に写

本が作られて流布し、彼の名が広く知られるようになった。また同じころの翻訳として、『視力乏弱論』『視学升堂』なども見られる。

信道塾で4年間勉学に励んだ後、長崎に遊学してオランダ商館長で医者でもあったJ.E.ニーマンなどにオランダ医学を学んだ。長崎修行中に、長州の青木周弼、伊予大洲の伊東南洋と共にM.W.プラッヘ『ベルギー局方のための処方書』(1829)を訳した。この訳書『袖珍内外方叢』(1836〜39=天保7〜9年)は未刊だったが、写本として広く利用された。

1938(天保9年)洪庵は長崎から大阪に戻って「適塾」を開き、三千といわれる塾生を擁して多くの人材を育て上げ、吉田松陰と並び幕末の二大教育者と称された。門下から、村田蔵六(大村益次郎)、箕作秋坪、橋本左内、福沢諭吉など日本近代化に貢献した偉材が輩出したが、備作地方の入門者は47名を数えたという。その中には、洪庵が幕府に招聘されたときに塾の教育を任せた義弟の緒方郁蔵、備前の医師の家に生まれ、蜂須賀侯の侍医や大学東校(東京大学の前身)の教授になった島村鼎甫、また、前回紹介した石井宗謙の子息で勝山藩医や大阪医学校校長、大学東校の教授などを歴任した信義も見られる。信義は多くの翻訳も手掛け、坪井為春とタナーの書(T.H.Tanner, — Practice of Medicine)を共訳して『丹氏医療大成』(明治8年)を刊行したのは優れた業績だった。

最後に備前・備中・美作三国が生んだ著名な医学者を簡単に紹介しておきたい。美作に生まれシーボルトの下で医学を学んだ石坂桑亀は足守藩医に招請されたが、後に倉敷で開業した。かれの女婿堅壮は本草学に長じ、岡山藩医学館の教授に任命されたが、備前の地方病だった肝臓ジストマを発見したことはかれの不滅の業績で、これは日本における肝吸虫の最初の発見だったという。堅壮の女婿となった惟寛も優れた人物で、かれは第6代の軍医総監になった。

備作三国が生んだ洋学者を大ざっぱに紹介したが、この国の各藩が幕末・明治の新しい文化創成を担った、多くの優れた人材を送り出したことに感銘を覚える。〔参考文献：中山沃『岡山の医学』／緒方富雄『江戸時代の洋学者たち』／酒井シヅ『医界風土記：中国・四国編』 (元丸善・本の図書館長)

新旧さまざまな英和辞典が手元にある。学習用の英英辞典も何冊か揃っている。一般に、英英辞典というと、すべて英語で書かれているので、難しいのではないか、日本語がないので不便であるという印象をもちがちである。そこで英英辞典の「難しさ、不便さ」を打開する辞典として、『英英和辞典』があるといいのではないか。こんな思いをしていたとき、偶然にも、増進会からOxford Wordpower Dictionaryをベースにした『ワードパワー英英和辞典』を出版しないかという話しが舞い込み、この度、多くの人たちの協力を得て、今月ようやく世に出すことになった。実際に執筆してみて、いくつかの利点があることに気づいた。

英和辞典は見出し語に対する日本語の対応語がすぐに分かるので便利がよい。しかし、便利があまりにもよすぎるのではないかとしばしば考えさせられる。未知の単語が出てくると、英和辞典を引き、文章内容に相応しい訳語を見つけようとする。

しかしながら、分量の点で学校の使用する教科書はあまりにも少なすぎる。中学校の英語教科書は1年間でせいぜい100頁位の分量であり、単純計算では1週間に2頁弱しがすぎない。さらに1頁の分量は10行弱である。つまり、英語を日本語に訳してもその量は極めてわずかである。

英語を身につけるには、専門家は3つの学習が必要であると言う。それは、英語そのものの学習、英語についての学習、英語を通しての行動の3つである。英英和辞典の構成は大別して6つの要素―見出し語、発音記号、文法の範疇、定義、対応する日本語、用例から成り立っている。これらのうち、実際の英語は見出し語と用例であり、それ以外の発音記号、文法の範疇、定義の3つは言語についてのシンボルまたはメタ言語である。

大辞典を活用している人は別として、これまでとはかく訳語をみつげるために辞書を引く学習者が多かった。なぜその訳語が生まれてくるのかという定義の部分はあまり取り上げられなかったため、専ら訳語の記憶負担を多くする傾向があった。また見出し語は文字言語の実体であるが、音声言語の実体については発音記号を使うと一層近づくことができるのに関わらず、上級学校への入試が主としてペーパーテストであるために、不規則な綴り字を記憶する負担を強いられてき

たように思われる。

この状態が続けると、英語そのものの理解ではなく、日本語を通しての理解になるため、読解スピードが遅くなり、国際的な英語能力テストになるとよい点数が取れなくなってしまう。この状態をブレイクスルーするには、英英和辞典の利点を活用することが一番よいのではなからうか。

例えば、borderとあると「国境、国境地帯」という訳語だけを記憶すると、borderの語が持つイメージができあがることはない。一方、英英和辞典を引くとどのような視野が開けるのであろうか。Oxford Wordpower Dictionaryの原文では、a line that divides two countries, etc; the land close to this line.となっている。『ワードパワ

ー英英和辞典』では、この原文につけ加えて

「2つの国などを分ける線；この線に近い土地」と訳文を載せている。原文の定義を日本語訳で確認することができるので、英語の能力に関係なく、内容を確認し、自信をもって定義を理解できる。そのあとで「→国境、境界、国境地帯」と日本の対応訳があると、初めて納得のいくのである。一見回りくどい学習かもしれないが、この

方法は学習者の頭脳を活性化し、否が応でも

読み手の学習意欲を高めていく。英和辞典を引く学習者はborderと「国境」などの日本語と恣意的に結びつけるだけであるが、英英和辞典を引く学習者は定義から自ずと生まれる日本語をよりの確に捉えしかも長期記憶になるだろうと思う。その理由はborderの日本語訳を知るだけでなく、定義を通して、line, divide, countryなど、定義上に必要なメタ言語に接するので、より接点の多い学習に発展することが期待できるからだ。

コミュニケーションを重視する授業では教師と学習者との対話が必要であるが、英英和辞典を使うことで、英語で問答することがさらに増やすことができる。borderをさらに発展させて、教師はWhat do you call the line that marks a division between two different cases, conditions or what have you?と聞き、We call it borderline.のような問答ができれば活気に溢れた望ましい学習雰囲気が生まれるであろう。（茨城キリスト教大学教授）

訂正：1月号終わってから3行上

「エウ^スレイ」→「エウ^ズレイ」

新しい英語学習 のコンセプト 『英英和辞典』の利点

島岡 丘

「優良アメリカ企業500社ガイド2002年版」

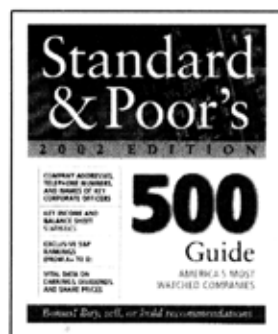
Standard & Poor's 500 Guide

2002 年版

世界中の投資家、アナリストから最も高い信頼を集めている、『優良アメリカ企業 500 社ガイド 2002 年版』(Standard & Poor's 500 Guide)

『優良アメリカ企業 500 社ガイド』とは、スタンダード・プアーズ社がニューヨーク証券アメリカン証券取引所、NASDAQ 登録の合計 500 銘柄についての投資家向け情報で、機関投資家の運用実績を測定するベンチマークとして広く利用されています。優良 500 社についての詳細は下記を掲載。

- 収益、配当金、株価に関するデータ
- 損益計算書、貸借対照表などの統計
- 個々の銘柄に対しての 8 段階にわたる売買推奨判断
- 個々の株価に対するスタンダード・プアーズの見解
- 会社の住所、電話番号、役員名等の企業情報



姉妹編の書籍として、発行済み株式時価総額平均 21 億ドルの注目企業 400 社の情報を集めた、『Standard & Poor's Mid Cap 400 Guide』と時価総額平均 5 億 8 千 6 百万ドルの 600 社の情報を紹介した、『Standard & Poor's Small Cap 600 Guide』も同時に出版。

Standard & Poor's 500 Guide	本体価格： 3,800 円 (日本総代理店)
Standard & Poor's Mid Cap 400 Guide	本体価格： 4,200 円 (ストックリスト)
Standard & Poor's Small Cap 600 Guide	本体価格： 4,200 円 (ストックリスト)

輸入総代理店



日本出版貿易株式会社

〒 101-0064 東京都千代田区猿樂町 1-2-1

Tel. 03-3292-3755 Fax. 03-3292-8766 E-mail: bksale@jptco.co.jp